



令和5年9月15日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和5年防災功労者防災担当大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

※ 防災功労者防災担当大臣表彰は、災害時の防災活動の実施、防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 西川、中川、高野

電話：03-3593-2844（直）FAX：03-3503-5690

令和5年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

鍵屋 一	(埼玉県)
加藤 孝明	(東京都)
関谷 直也	(東京都)
栗田 暢之	(愛知県)
伊藤 彰夫	(奈良県)
上月 康則	(徳島県)

〔防災思想の普及〕

槌田 禎子	(長崎県)
-------	-------

○ 団体

〔防災体制の整備〕

日進ニュータウン地区自主防災会	(愛知県)
有隣学区自主防災会	(京都府)
高松地区防災会	(和歌山県)
江府町池の内常磐会自主防災組織	(鳥取県)
日本経済大学	(福岡県)

〔防災思想の普及〕

石田地区自治会自主防災連合会	(栃木県)
特定非営利活動法人ざま災害ボランティアネットワーク	(神奈川県)
川辺復興プロジェクトあるく	(岡山県)
昭和地区自主防災会連合会	(徳島県)
加茂名地区自主防災連合会	(徳島県)

以上、17件(7個人、10団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	かぎや はじめ 鍵屋 一
住 所	埼玉県新座市
職 業	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、国の防災行政をはじめとする各般の防災対策の検討の場において各種委員として関わるとともに、また、社会活動や講演活動を積極的に行い、防災・危機管理の情報発信も精力的に行っている。特に、被災者支援のあり方検討会においては、座長を務め、より効率的で質の高い被災者支援や官民が連携した被災者支援体制の整備に関する知見の提供や助言など、氏による精力的な活動が国全体の防災力向上に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	かとう たかあき 加藤 孝明
住 所	東京都目黒区
職 業	東京大学生産技術研究所教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、各種委員として国の防災行政をはじめとした各般の防災対策検討の場において先導的な立場を担うとともに、今現在も国民の防災意識向上に資する活動において精力的に携わり、現在の防災体制の構築に寄与してきた。特に、地域防災力の向上を目指すアドバイザーリーボードにおいては座長を務め、地区防災計画の策定促進に向けた事業方針の決定にあたり多大なる影響を与え、各地区における計画策定促進に寄与した功績が特に優れている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	新 潟 県
ふ り が な 氏 名	せきや なおや 関谷 直也
住 所	東京都文京区
職 業	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、「新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」の委員長として、他の委員とともに、東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえた原子力災害時の避難対応等について検証を実施した。</p> <p>平成29年9月から令和4年9月の間に24回の委員会が開催された中で、幅広い分野の専門家から様々な意見等が出されたが、それらの中から安全に避難するための課題等を丁寧に抽出するとともに、最終的に12の検証項目456の論点に整理した「検証報告書」を、執筆した。</p> <p>検証報告書は、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）等の改正や、原子力防災訓練等の訓練内容の検討に活用するなど、新潟県の原子力防災体制の整備及び向上に多大な貢献を果たしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	くりた のぶゆき 栗田 暢之
住 所	愛知県名古屋市
職 業	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク代表理事
功 績 の 概 要	<p>氏は、各種委員として国の防災行政をはじめとした各般の防災対策検討の場において先導的な立場を担うとともに、今現在も災害ボランティアの育成や官民連携による被災者支援体制整備に資する活動において精力的に携わり、活動等を通じて我が国の被災者支援活動の円滑化に貢献した者として、その功績が顕著であると認められる。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	奈 良 県
ふ り が な 氏 名	いとう あきお 伊藤 彰夫
住 所	奈良県磯城郡川西町
職 業	川西町自主防災組織連絡協議会会長
功 績 の 概 要	氏は、自主防災組織相互の連携を密にし、充実・強化を目的として2011年に「川西町自主防災組織連絡協議会」を設立し、設立当初から会長として防災訓練や防災講習会を実施し、町民の防災意識の向上に貢献している。

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 氏 名	こうづき やすのり 上月 康則
住 所	徳島県徳島市
職 業	徳島大学教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、徳島大学が総合的な防災研究や教育、普及啓発を行うため設立した「徳島県環境防災研究センター」において、平成29年度から副センター長として、令和3、4年度は同センター長として、「最先端の研究・技術開発」、「教育・人材育成」、「社会実装」、「市民アウトリーチ活動」を強力に推し進めてきた。</p> <p>防災人材の育成について、大学内にとどまらず、県民向けの「地域防災推進員」養成研修のため教壇に立ち、平成30年度から3,000名を超える県民に地震・津波への備えについて講義を行った。また、徳島県新規採用職員605名が防災士資格を取得することができた。</p> <p>ブロック塀の危険性に着目し、建設コンサルタント会社や測量会社で利活用が進むレーザーやカメラ等の「センシングデータ」を用いたブロック塀の維持管理を高度化する方法、点群データからブロック塀を自動で抽出する技術について研究する一方、県民向けにブロック塀等の安全問題を対象としたユーモアのある防災学習教材を作成するほか、四国全域の災害に関する多数の言い伝えや体験談などから88話を選びすぐった「四国防災八十八話マップ」（四国地図版・徳島県版）の作成に携わるなど、親しみやすい手段を用いた防災思想の普及に努めている。</p> <p>また、その経歴を活かし、大規模災害発生時における、民間支援団体の活動を調整する「災害中間支援組織」の育成に関し、県内NPOの掘り起こし方法等、具体的な手法について助言する等、アドバイザーとして中心的な立場を担っている。</p> <p>さらに、県や市町村、県社会福祉協議会、土業ネットワーク推進協議会、NPOと連携する「徳島県被災者支援推進ネットワーク会議」の会長として、「災害ケースマネジメント手引書」の作成や、先進地視察等、ネットワーク会議推進の旗手として、精力的に活動している。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	長 崎 県
ふ り が な 氏 名	つちだ ていこ 槌田 禎子
住 所	長崎県長崎市
職 業	株式会社テレビ長崎 記者
功 績 の 概 要	<p>氏は、テレビ長崎の記者として、1982年の長崎豪雨災害、1990-95年の雲仙・普賢岳噴火災害等を取材し、災害発生から復旧・復興に至るまで、地域に密着して被災者や地域住民の活動を報道してきた。</p> <p>また、取材で蓄積した知見と伝える力が評価され、国際会議、学会、内閣府、国土交通省(九州地方整備局雲仙復興事務所、県、市、住民団体の活動等に参画して、専門家にはない視点からの防災思想の普及に貢献してきた。</p> <p>特に、1991年6月3日の雲仙の火砕流では地元の消防団員が被災したことを重く受け止めて、地元の集落の方々と向き合い続け、災害取材の在り方、災害遺構の保存・伝承、防災関係者との連携に取り組んでこられた。</p> <p>さらに、氏は、日本災害情報学会や日本災害復興学会の創設、災害教訓の継承、被災者対策の構築につながる活動にも尽力され、防災思想の普及に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	にっしんにゅーたうんちくじしゅほうさいかい 日進ニュータウン地区自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>なかしま</small> 中島 <small>としお</small> 寿雄
功 績 の 概 要	<p>日進ニュータウン地区自主防災会は、毎年10月に防災訓練を行っており、白布を玄関に掲示する安否確認訓練をはじめ、各班長から自主防災本部へ安否確認結果を報告するなど情報伝達訓練を実施している。安否確認訓練の結果は、地域回覧で共有を図っており、実施率の向上を目指している。令和3年度には、発災時における組織の役割を定め、被害状況等を正確かつ迅速に把握し、適切な対応を行えるように、地区防災計画として「日進ニュータウン自治会自主防災マニュアル」を策定した。策定したマニュアルは、全戸配布をしており、今後の防災活動に取り入れ、地域防災力向上に努めている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	ゆうりんがつくじしゅぼうさいかい 有隣学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市下京区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>やまだ</small> 山田 <small>しょういち</small> 章一
功 績 の 概 要	<p>有隣学区自主防災会は、平成28年から「防災まちづくり」の取組を開始し、平成29年には「防災まちあるき」を実施して、住民の意見を基に「防災まちづくりマップ」を作成し、学区内の全戸に配布している。</p> <p>また、スマートフォン等でも表示できる「防災まちづくりマップ」を地域住民に普及させ、経路を確認しながら実際に避難する訓練及び「有隣学区防災まちづくり計画」を策定し、災害への住民の備え、災害発生時の避難方法等、具体的な取組を示している。</p> <p>令和元年からは、専門家を招いてカードを用いたゲームによる避難所運営の研修を実施するなど、地域住民の避難所運営体制を強化する取組を行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	和 歌 山 県
ふ り が な 名 称	たかまつちくぼうさいかい 高松地区防災会
所 在 地	和歌山県和歌山市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>いい</small> 石井 <small>たろう</small> 太郎
功 績 の 概 要	<p>高松地区防災会では、地域の避難場所である高松小学校で毎年継続的に訓練を実施し、地区住民の防災力及び防災意識の向上を図っている。訓練を通じて学校との連携を年々深めるとともに、隣接地区の子供の訓練参加も促すなど、地区内外の交流を積極的に進めている。</p> <p>また、訓練に合わせて、和歌山大学の教員が防災に関する講演を行い、学生ボランティアとともに訓練を行うなど、大学と連携した取り組みも行っている。</p> <p>令和4年度には、南海トラフ地震や紀の川の氾濫など大規模災害が発生した場合に、地区住民が安全に避難できるよう、地域の実情に即した被害状況、避難経路等、具体的な情報を盛り込んだ地区防災計画を策定した。</p> <p>継続的な訓練の実施、多様な主体との連携、災害時の行動計画の作成など、地域の防災力向上に資する取り組みを行い、地域住民が安全・安心に暮らせる体制の整備に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	鳥 取 県
ふ り が な 名 称	こうふちょういけのうちときわかいじしゅぼうさいそしき 江府町池の内常磐会自主防災組織
所 在 地	鳥取県江府町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>きやま ひろし</small> 木山 洋志
功 績 の 概 要	<p>江府町池の内常磐会自主防災組織は、「地域の昼間」を守ろうと様々な活動を21年間継続してきた。</p> <p>初期消火訓練、救急救命講習、小型ポンプの運用訓練及び整備、住宅用火災警報器の設置促進、東日本大震災への義援金の取りまとめ等をおこなった。地道に活動を継続することで、年2回の集落合同消防訓練の参加数が増え、防災意識が高まり、警報発令時の避難所の準備体制も構築され、自主的あるいは避難の呼びかけで避難される方が増加してきた。地域全体の災害に対する自助・共助意識の醸成に大きく貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	福 岡 県
ふ り が な 名 称	にほんけいざいだいがく 日本経済大学
所 在 地	福岡県太宰府市
代 表 者 (団体での職名)	学長 <small>つづき</small> 都築 <small>あすか</small> 明寿香
功 績 の 概 要	<p>日本経済大学は、国内の被災地支援に留まらず、海外での被災地支援まで学生有志と大学が連携し行ってきた実績がある。</p> <p>また、学生有志にて災害ボランティア活動を行う中で、学内では本格的に防災についての学びを深めていこうとの機運が高まり、本学は令和4年度から学生防災士育成に取り組み、初年度は21名の学生防災士を誕生させた。令和5年度は228名の学生が防災士資格取得に取り組んでいる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	栃 木 県
ふ り が な 名 称	いしたちくじちかいじしゅぼうさいれんごうかい 石田地区自治会自主防災連合会
所 在 地	栃木県河内郡上三川町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おおしま</small> 大島 <small>つねゆき</small> 常行
功 績 の 概 要	<p>石田地区自治会自主防災連合会は、令和元年の台風19号の対応においては、投光器やランタンの設置など徹夜で避難所の運営サポートに従事した。この体験をきっかけに防災に対する気持ちがより一層高まり、当対象地区の避難所の見取り図の作成を行った。現在では資機材・備蓄食料の整備等を実施している。</p> <p>また、防災関連機関主催の行事への参加や土のうづくり訓練など自主的に訓練を実施している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	神 奈 川 県
ふ り が な 名 称	とくていひえいりかつどうほうじんざまさいがいぼらんていあねつとわーく 特定非営利活動法人ざま災害ボランティアネットワーク
所 在 地	神奈川県座間市
代 表 者 (団体での職名)	代表理事 ^{はまだ} 濱田 ^{まさひろ} 政宏
功 績 の 概 要	<p>特定非営利活動法人ざま災害ボランティアネットワークでは、市民の自助力を向上させるとともに「災害で死なない、ケガをしない、火事を出さない」をテーマに講話や訓練等に取り組んでいる。また、近年、地域の核家族化と共に高齢化が進んでいることを踏まえ、「隣助（向こう三軒両隣）」の繋がり大切さを普及する取り組みを行っている。なお、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、避難所へ行かない「おうち避難（在宅避難）」の啓発を行っている。</p> <p>活動対象は幅広く、自治会、地区社協、民生委員・児童委員、学校PTA、介護施設などを対象に、各所で防災講話、体験型講座、ワークショップなどを開催している。また、希望する各市立小・中学校及び県立座間支援学校教員への防災研修、児童・生徒への防災授業を実施している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	岡 山 県
ふ り が な 名 称	かわべふっこうぶろじえくとあるく 川辺復興プロジェクトあるく
所 在 地	岡山県倉敷市
代 表 者 (団体での職名)	代表 <small>まきはら</small> 槇原 <small>さとみ</small> 聡美
功 績 の 概 要	<p>川辺復興プロジェクトあるくは、30年豪雨の災害直後から、被災地域において活動を開始し、被災者の生活支援や交流拠点の運営等を行うとともに、多様な主体と連携の上、研修会やイベントの開催、啓発資材の作成など住民ニーズを掘り下げた防災・減災の取り組みを行っている。</p> <p>“マイ避難先” “避難スイッチ” “持っていくもの” などの具体的な避難のヒントを盛り込んだ「防災おやこ手帳」は、全国の希望者に無料配布、活用されている。また、手軽な安否確認ツールとして、黄色いタスキを住民へ全戸配布し、迅速な安否確認や救助を目指す「黄色いタスキ大作戦」の発案などは、先駆的かつ創意工夫に満ちた取組である。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	しょうわちくじしゅぼうさいかいはんごうかい 昭和地区自主防災会連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>いずみ よしひで</small> 泉 佳秀
功 績 の 概 要	<p>昭和地区自主防災会連合会は、設立以降長年にわたり、学校や他団体と連携し、防災講演会等の研修を実施し、地域の防災力を高めるさまざまな防災活動を実施している。</p> <p>毎年実施している防災訓練では、市、消防局等との連携を図り、地域の小・中学生の参加を得るなど、若年層に対する防災意識の啓発に努めている。</p> <p>また、地震災害のみならず、水害対応にも強い意識を持ち訓練等を実施している。</p> <p>さらに、隣接地域の自主防災連合組織と合同で訓練を実施する等、創意工夫を凝らした内容で防災活動を展開しており、地域の災害対応力向上に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	かもなちくじしゅぼうさいれんごうかい 加茂名地区自主防災連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>やました よしまさ</small> 山下 善正
功 績 の 概 要	<p>加茂名地区自主防災連合会は、連合会結成以降、定期的に地域住民参加型の防災研修、防災訓練、救命講習等を毎年継続して実施しており、視察研修、防火パレード等も積極的に実施している。</p> <p>令和2年3月には地震・津波・洪水避難支援マップの作成に取り組み、毎年実施している防災研修では、高齢者等の災害弱者の避難方法を検討し、防災訓練では各種災害に対する対策について知識の共有を図っている。</p> <p>また、消火訓練、ロープワーク、資機材取扱い訓練等を実施することで、地域コミュニティの活性化を図るなど、継続的な地域防災活動が認められる。</p> <p>さらに、地域の関係機関と連携強化を図るため、消防、警察、社会福祉施設等と合同で訓練を実施し、常に地域防災力の向上に多大な貢献をしている。</p>